

対策区分	具体策	職員負担	デメリット	効果	検討結果
施設に細菌やウイルスを持ち込まない対策	体調不良の面会者を規制する（文書で依頼する）				
	体調不良の面会者を規制する（ポスターを掲示する）				
	面会者に対し受付付近で手の消毒をお願いする				
	面会者に対しマスクを着用するようにお願いする				
	体調不良の職員の出勤を規制する				
	職員出勤時に手洗い・うがいを励行する				
細菌やウイルスを増殖させない対策	低免疫力の利用者に対して重点的に口腔ケアを行う				
	低免疫力の利用者のみ、ベッドまわりのふき掃除を毎日行う（委託業者へ依頼）				
	居室での食事やおやつをできるだけ減らし、ベッドまわりの衛生管理を徹底する				
細菌やウイルスを低免疫力の利用者の体内に侵入させない対策	低免疫力の利用者のみ、大型加湿器を設置し湿度管理を徹底する				
	介助時には必ず手袋を着用する				
	汚物の処理などのときには、専用のガウンを着用する				
	排泄の介助などは終了する都度手洗いを行う				
	低免疫力の利用者だけ1つのエリアに集めて、そのエリアだけ衛生管理を徹底する				
利用者の免疫力を向上させる対策	低免疫力の利用者の食事介助を見直し、低栄養状態にならないように徹底する				
	昼間は居室から出てもらい、レクリエーションに参加するなど精神活動を活発にする				
	感染症を理由に入浴回数を減らすなどの規制をいつさいしない				
	高カロリー食を頻回に摂取する				